

第六十四回  
帝國議會  
貴族院

# 辯護士法改正法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和八年三月二十四日(金曜日)午後二時  
十四分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 是ヨリ委員會ヲ開會イタシマス、前會ニ引續イテ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵徳川喜翰君 一昨日ヨリ昨日ニ於キマシテ、第十八條ガ大分問題ニナッテ居リマスガ、此點ニ關シテ今少シク質問シタイト思ヒマス、第十八條ノ但書デスガ、是ハ先ヅ第十八條二項ノ但書デアルト云フ前提

ノ下ニ考ヘタイト思ヒマスガ、此但書ヲ少シ言葉ヲ換ヘテ解釋シテ見ルト「但シ他ノ辯護士事務所ニ於テ共同シテ執務スルモノハ此限ニ在ラズ」此限ニ在ラズト云フコトハ、即チ共同シテ執務スル場合ハ如何ナル名義ヲ以テスルモ、二個以上ノ事務所ヲ設

クルコトヲ得、斯ウ云フ風ニモ解釋ガ出來ル譯デアリマス、此第二項ノ但書ヲ若シサウ解釋スレバ即チ第一項ノ事務所ハ所屬辯護士會ノ地域内ニ設クベシト云フコトト低觸ヲスルト思ヒマス、即チ此但書ヲサウ解

釋イタシマスコトハ二個以上ノ事務所ヲ設クルコトヲ得……所ガ事務所ヲ設クルコトハ是ハ第一項ノ所屬辯護士會ノ地域内ニ設

ケル、サウ云フヤウナコトニナリマス、衆議院デ問題ニナッタ他ノ場所ニ事務所ヲ置ク、即チ例ヲ舉ゲレバ東京ノ辯護士ガ横濱ニ辯護士事務所ヲ設ケル、即チ此但書ノ趣旨ガ徹底シナイヤウニ思フノデアリマス、サウナリマス、此第二項ノ政府案ダケガ非常ニ空文ニナリ、但書ノ意味ガ非常ニ強クナリマス、イッソノコト但書ヲ全然附ケナケレバドウデアルカ、其點ニ對シテ一應政府ノ御説明ヲ伺ヒタイ

○政府委員(木村尚達君) 只今徳川サンノ仰セラレマシタ通り但書ガ附イテ居リマスノヲ此儘ニ讀ミマス、第一項ノ規定ガアリマスル關係上各地間ニ於テ此但書ノ事項ガ行ハレ得ルコトニナリマス、詰リ一項ト但書ハ矛盾スル譯ニナリマスカラ、東京ニ事務所ヲ持ッテ大阪ノ他ノ辯護士事務所ニ

共同シテ執務スルト云フコトニナリマス、第一項ニ違反スルコトニナリマス、從テ第一項ガ原則デアリマスカラ、此但書ノ場合ハ同ジ辯護士會ノ地域内ニ非ズンバ、但書ニ依ッテ二個以上ノ事務所ヲ設ケルコトガ出來ナイ、サウ云フ結果ニナリマス、從テ御問ヒノヤウナ結果ヲ惹キ起スダラウ

第四部第二九類 辯護士法改正法律案特別委員會議事速記録第三號 昭和八年三月二十四日

ト思ヒマス、ソコデ但書ヲ取ッテシマッタラドウカト云フ御話デアリマスガ、此但書ヲ附ケマシタ趣旨ハ、東京ト大阪ノ間、或ハ東京ト横濱ノ間、サウ云フ各地ノ地域ノ異ナル場所ニ於テモ、矢張り外ノ辯護士ノ事務所デ事務所ヲ執ルコトハ差支ナイヤウニシテ貫ヒタイト云フ趣旨デ此但書ハ實ハ出來タノデアリマスカラ、此但書ヲ抹殺スルコトニナリマス、衆議院ノ希望ガ全ク消エテシマウコトニナリマスカラ、政府ハ既ニ衆議院ノ其希望ニ基イテ此但書ヲ入レルコトニ贊意ヲ表シマシタ、全然此但書ヲ取ッテシマウト云フコトニ付テハドウカト實ハ考ヘテ居リマス、何トカ此但書ガ衆議院ノ修正シマシタ意味ニ於テ生キルヤウニ御訂正下サルコトナラバ頗ル結構ト考ヘテ居リマス

○男爵徳川喜翰君 第十八條ニ付キマシテ政府當局ノ御意見ハソレデハハッキリ分リマシタカラ此點ハ最早質問イタシマセス、唯アト一件質問イタシタイコトハ附則ニ付テデアリマスガ、本法ガ施行セラレテカラ六箇月ノ間ハ二個以上ノ事務所ヲ持ッテ居ル辯護士ハ之ヲ存續シテ置クコトガ出來ル、

此點ニ付テハ何等疑問モナクハッキリシテ居リマス、此六箇月以内ト云フモノハ二個置イテ置ケル、サウ致シマス、モウ一ツノ法律ノ、法律事務所取扱ノ取締ニ關スル、法律案ニ依ッテ、所謂非辯護士ガ取締ラレルコトニナリマスガ、其施行ノ以前ト施行後ノソコノ所ハ、ハッキリ非辯護士ガ今迄ノ辯護事務所ヲヤッタコトガ、取締リ得ルカ、其點ハドウ云フ法律ヲ以テ、取締ッテオイデニナル御都合デゴザイマス、無論今度出マスル、取締法律ニ依ッテモ、之ニ反スルコトハ、ドシノ罰スルコトガ出來マスケレドモ、單ニ罰スルバカリガ能デハナクシテ、サウ云フコトノ起ラナイヤウニ取締ラレルト云フコトガ必要デアルト思ヒマスガ、其一點ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(木村尚達君) 其非辯護士ノ取締ニ付キマシテハ、施行期日ガ三年間ノ後ニナッテ居リマスカラ、其間ニ地方裁判所所長或ハ檢事正トヲ通ジマシテ、出來得ルダケ轉業ノ機會ヲ促進スルヤウニ、努メマシテ、サウシテ愈、三年後ニ此兩案ガ施行ニナリマス際ニ於テハ、現在所謂三百の仕事ヲシタ人ガ無イヤウニ、無クナルヤウニ

努力シタイト、サウ云フ考ヘテ居リマス、只今尙ホ其附則ノ六箇月内ノコトト關聯シテ御質問ニナリマシタガ、其點ハチョット私ニ分リ兼ねマスガ、此處ノ二個以上ノ事務所ト云フノハ、總テ辯護士ガ現在二個以上ノ事務所ヲ有テ居ルナラバ、其辯護士ダケハ六箇月内ダケ其事務所ヲ存續スルコトガ出來ル、サウシテ六箇月經テマシタナラバ、一ツノ事務所ハ兎ニ角廢止シナケレバナラヌ、サウ云フ結果ニナルト思ヒマス、

ルケレドモ、法律ノ精神ニ反スルヤウナコトガ起ラナイヤウニスル爲ニスル取締ガ必要デアアル、故ニ其取締ノ御方針ヲ伺フタノデアリマス、併シ政府ノ御趣旨ハ能ク分リマシタカラ是以上伺フ必要ハアリマセヌ  
○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット政府ニ伺ヒマスガ、此法律ノ施行期日ハ今ヨリ三年後ノ十一月四月一日デアルノニ尙ホ六箇月間二個以上ノ存續ヲ許スト云フノハドウ云フコトデスカ

テ置ケバ尙更猶豫期間ガ出來ルノデアリマスカラ……併ナガラ法ノ立前カラ言ヘバ或ハ昭和十一年四月一日カラ實施ニナルノデアリマスカラ、ソレ迄ニ二個以上ノモノヲ取締ルト云フ方法ガ付カヌノデアリマス、ソコデ此立前デ行クヨリ外方法ハナイノデナイガ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット速記ヲ止メテ……  
(速記中止)

シタイト思ヒマス、其理由ハ抑、此衆議院修正案ニ依ッテ斯ウナリマシタ其色、理由ヲ尋ネテ見マスト、衆議院議員ニシテ代議士ガ選舉違反ニ觸レタヤウナ場合ニ或ハ七箇月、或ハ八箇月ノ禁錮ノ若シ刑ニ處セラレタ場合ニハ、此第五條ノ第一項ニ政府原案ナラバ抵觸スル、ドウモ此點ガ面白クナイカラト云フノデ斯ノ如ク修正サレタヤウニ思ヒマスガ、抑、只今ハ選舉法改正ニ付テハ朝野ニ色々ノ議論ガアリ特ニ選舉界ノ廓清ニ付テハ識者ノ注意ヲ促シテ居ル點デゴザイマスガ、衆議院議員ノ榮職ニアリ、又辯護士ノ要職ニアル人達ガ自ら選舉法ノ違反ニ觸レタ場合ニハ困ル、選舉法違反ニ觸レルト云フコトヲ自ら認識サレルコトソレ自身ガ私ハ誠ニ芳シカラヌコトデアルト思ヒマス、ソレガ理由ノ第一デアリマス、

只今ノ第八條ノ但書ニ依ッテ他ノ辯護士ノ所デ執務スルヤウナ方法ヲ取レバ、ソレハ但書ガ生キマスカラ差支ヘナイ、サウ云フ風ニ御解釋ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 御質問ノ點ハ尤モノ點ト實ハ考ヘテ居リマスルガ、或ハ御説ノ通り昭和十一年四月一日カラ施行イタシマスルカラ、ソレマデニ二個以上ノ事務所ヲ持ッテ居ル人ハ一箇所ニ改メルト云フコトニ致シマシテモ無理ハナカラウカト思、テ居リマス、唯之ヲ勅令ヲ以テ初メヤル考デアリマシタノデ、施行期日ヲ三年後ニ規定ヲ致スト云フコトニ定メタノニモ經緯ガアリマシテ、結局法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律ト辯護士法ト云フモノト殆ド同一ニ見ルヤウニ致シテ法律デ定メタナラバト云フコトデ三年ニ致シマシタ爲ニ、サウ云フコトガ出來クノデアリマス、或ハ御質問ノ通りニシテモ大シタ間違ヒハナイカト考ヘテ居リマスガ、或ハ斯ウ云フ風ニシ

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ是カラ討論ニ入りマス  
○男爵徳川喜翰君 私ハ今般本委員會デ審査シテ居リマスル辯護士法改正法律案中……是ハ審査サレテ居リマスノハ衆議院修正案デゴザイマスガ、修正案中第五條第一項ニ於キマシテ修正ラシタイト、修正ノ動議ヲ提出シタイト思ヒマス、其修正ハ第一項ニ「懲役又ハ一年以上ノ禁錮ニ處セラレタル者」トゴザイマスガ、之ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト云フ風ニ修正

第二ニハ抑、辯護士ナル者ハ法廷ニ於テ神聖ナル裁判官ニ相對シ、善良ナル委託者ニ對シ全力ヲ以テ其委託事務ヲ處理シテ行クト云フ實ニ是モ神聖ナル業務ヲ有ツ者デアリマス、一方裁判官ハ神聖デアルト云フコトハ世間ニ叫バレルト同時ニ、他方之ニ相對スル辯護士ガ神聖デナクテハナラナイ、即チ品位ヲ保ツト云フコトハ實ニ大事ナ要件デアルト思ヒマス、然ルニ此衆議院ノ修

○男爵徳川喜翰君 私ハ二個以上ノ事務所ニ付テ伺、タノデナクシテ、悪イ場合ヲ可ナリ想像シテ伺、タノデス、假ニ非辯護士ヲ取締ルト云フコトハ、要スルニ非辯護士デ良クナイノガ多イカラ取締ル、辯護士事務所ヲ一個ニスルト云フコトモ辯護士ノ跳梁ヲ防グ、併ナガラ四月一日以前ニ於テ二個以上ノ事務所ヲ利用シテ居ル辯護士ガアツタ場合ニ、四月一日以後ニ於テ、ソレヲ又所謂法律ヲ知ッテ居、テモ、從前ノ例ニ倣、テ事務所デ以テ法律ニ抵觸スルヤウナ行爲ヲシハシナイカ、要スルニ法律ノ罰則ハ罰則デア

○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット速記ヲ止メテ……  
(速記中止)

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ是カラ討論ニ入りマス  
○男爵徳川喜翰君 私ハ今般本委員會デ審査シテ居リマスル辯護士法改正法律案中……是ハ審査サレテ居リマスノハ衆議院修正案デゴザイマスガ、修正案中第五條第一項ニ於キマシテ修正ラシタイト、修正ノ動議ヲ提出シタイト思ヒマス、其修正ハ第一項ニ「懲役又ハ一年以上ノ禁錮ニ處セラレタル者」トゴザイマスガ、之ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト云フ風ニ修正

第二ニハ抑、辯護士ナル者ハ法廷ニ於テ神聖ナル裁判官ニ相對シ、善良ナル委託者ニ對シ全力ヲ以テ其委託事務ヲ處理シテ行クト云フ實ニ是モ神聖ナル業務ヲ有ツ者デアリマス、一方裁判官ハ神聖デアルト云フコトハ世間ニ叫バレルト同時ニ、他方之ニ相對スル辯護士ガ神聖デナクテハナラナイ、即チ品位ヲ保ツト云フコトハ實ニ大事ナ要件デアルト思ヒマス、然ルニ此衆議院ノ修

○男爵徳川喜翰君 私ハ二個以上ノ事務所ニ付テ伺、タノデナクシテ、悪イ場合ヲ可ナリ想像シテ伺、タノデス、假ニ非辯護士ヲ取締ルト云フコトハ、要スルニ非辯護士デ良クナイノガ多イカラ取締ル、辯護士事務所ヲ一個ニスルト云フコトモ辯護士ノ跳梁ヲ防グ、併ナガラ四月一日以前ニ於テ二個以上ノ事務所ヲ利用シテ居ル辯護士ガアツタ場合ニ、四月一日以後ニ於テ、ソレヲ又所謂法律ヲ知ッテ居、テモ、從前ノ例ニ倣、テ事務所デ以テ法律ニ抵觸スルヤウナ行爲ヲシハシナイカ、要スルニ法律ノ罰則ハ罰則デア

○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット速記ヲ止メテ……  
(速記中止)

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ是カラ討論ニ入りマス  
○男爵徳川喜翰君 私ハ今般本委員會デ審査シテ居リマスル辯護士法改正法律案中……是ハ審査サレテ居リマスノハ衆議院修正案デゴザイマスガ、修正案中第五條第一項ニ於キマシテ修正ラシタイト、修正ノ動議ヲ提出シタイト思ヒマス、其修正ハ第一項ニ「懲役又ハ一年以上ノ禁錮ニ處セラレタル者」トゴザイマスガ、之ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト云フ風ニ修正

第二ニハ抑、辯護士ナル者ハ法廷ニ於テ神聖ナル裁判官ニ相對シ、善良ナル委託者ニ對シ全力ヲ以テ其委託事務ヲ處理シテ行クト云フ實ニ是モ神聖ナル業務ヲ有ツ者デアリマス、一方裁判官ハ神聖デアルト云フコトハ世間ニ叫バレルト同時ニ、他方之ニ相對スル辯護士ガ神聖デナクテハナラナイ、即チ品位ヲ保ツト云フコトハ實ニ大事ナ要件デアルト思ヒマス、然ルニ此衆議院ノ修

○男爵徳川喜翰君 私ハ二個以上ノ事務所ニ付テ伺、タノデナクシテ、悪イ場合ヲ可ナリ想像シテ伺、タノデス、假ニ非辯護士ヲ取締ルト云フコトハ、要スルニ非辯護士デ良クナイノガ多イカラ取締ル、辯護士事務所ヲ一個ニスルト云フコトモ辯護士ノ跳梁ヲ防グ、併ナガラ四月一日以前ニ於テ二個以上ノ事務所ヲ利用シテ居ル辯護士ガアツタ場合ニ、四月一日以後ニ於テ、ソレヲ又所謂法律ヲ知ッテ居、テモ、從前ノ例ニ倣、テ事務所デ以テ法律ニ抵觸スルヤウナ行爲ヲシハシナイカ、要スルニ法律ノ罰則ハ罰則デア

○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット速記ヲ止メテ……  
(速記中止)

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ是カラ討論ニ入りマス  
○男爵徳川喜翰君 私ハ今般本委員會デ審査シテ居リマスル辯護士法改正法律案中……是ハ審査サレテ居リマスノハ衆議院修正案デゴザイマスガ、修正案中第五條第一項ニ於キマシテ修正ラシタイト、修正ノ動議ヲ提出シタイト思ヒマス、其修正ハ第一項ニ「懲役又ハ一年以上ノ禁錮ニ處セラレタル者」トゴザイマスガ、之ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト云フ風ニ修正

第二ニハ抑、辯護士ナル者ハ法廷ニ於テ神聖ナル裁判官ニ相對シ、善良ナル委託者ニ對シ全力ヲ以テ其委託事務ヲ處理シテ行クト云フ實ニ是モ神聖ナル業務ヲ有ツ者デアリマス、一方裁判官ハ神聖デアルト云フコトハ世間ニ叫バレルト同時ニ、他方之ニ相對スル辯護士ガ神聖デナクテハナラナイ、即チ品位ヲ保ツト云フコトハ實ニ大事ナ要件デアルト思ヒマス、然ルニ此衆議院ノ修

正案ニ於キマシテハ禁錮ニ處セラレテモ一年ニ滿タナイ場合ニハ尙ホ辯護士ノ事務ヲ執ルコトガ出來ル、即チ辯護士ノ資格ヲ有シテ居ルト云フコトハドウモ我々社會ノ觀念ニ反スルモノト思フノデアリマス、其點ガ即チ茲ニ修正ノ動議ヲ出ス第二ノ理由デアリマス、第三ハ本法施行後ニ於キマシテハ、政府ハソレノ此法律ヲ施行スルコトニ責任ヲ以テ掛ラナケレバナリマセヌ、然ルニ其責任ヲ以テ本法ヲ運用シテ行カウト云フ政府ニ於テハ、衆議院修正案ニ對シテハ同意ヲシナイ、即チ反對ノ意ヲ表シテ居ラルノデアリマスガ、反對ノ意ヲ表シテ居ラレレ儘ニ衆議院修正通りノ案ニ依ッテ、今後責任ヲ持ッテ行クト云フコトハ如何カト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ以上ノ三點ヲ以テマシテ第五條第一項ヲ、再ビ申上ゲマスガ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト云フ風ニ修正スルコトノ動議ヲ提出イタシマス、尙ホ此修正ニ依リマシテ、當然他ニ修正スベキ場所、附則其他ニゴザイマセウガ、是ハ然ルベク矢張り同様御修正ヲ願ヒタイト思ヒマス、第五條第一項ノ修正動議ヲ出シ、其理由ヲ以上ノ通り述べル次第デアリマス

**○委員長(子爵渡邊千冬君)** 德川男爵ハ其

第五條ダケデアリマスカ、外ニモ修正ノ御意見ガデアリマスナラバ一緒ニ御述ベテ願フテ、一緒ニ採決イタシテ如何カト思ヒマス

**○男爵德川喜翰君** ソレデハ若シ外ニ修正點ガアレバ同時ニ採決シタイト云フ委員長ノ御話デゴザイマスカラ、更ニ他ニ今一點修正動議ヲ提出イタシマス、ソレハ第十八條ニ於キマシテ其第二項ニ衆議院ニ於テハ「但シ他ノ辯護士事務所ニ於テ共同シテ執務スル場合ハ此ノ限りニ在ラズ」ト斯ウ云フ但書ヲ新ニ附ケタノデゴザイマス、然ルニ本日ニ至リマスマデ三回ノ委員會ニ於キマシテ、色々政府當局ノ御説明ヲ伺ヒ、又各委員ノ御意見モ伺ヒマシタ結果、此但書ハ同條第二項ノ點ノ意思、即チ「如何ナル名義ヲ以テスルモノ二個以上ノ事務所ヲ設クルコトヲ得ズ」ト此立法ノ精神ニ對シマシテ可ナリ矛盾ヲシテ居ル點ガアルノデゴザイマス、ソレハ即チ此但書ニ於テ現ハレテ居リマス點ハ、共同シテトカ、或ハ此ノ限ニ在ラズト云フ點ガ、斯ノ如ク思ハレルノデアリマス、特ニ此ノ限ニ在ラズト云フ點ハ、第二項ノ「事務所ヲ設クルコトヲ得ズ」、是ノ反對ノ意味ヲ現ハシテ居リマス、即チ二個以上ノ事務所ヲ設クルコトヲ得ルト云フ

**○委員長(子爵渡邊千冬君)** 德川男爵ハ其

コトニナッテ居リマスノデ、此點ハ先般來皆サン御審査ノ結果、誠ニ穩當ヲ闕クモノデアルト云フ御意見ノ下ニ之ヲ「但シ他ノ辯護士事務所ニ於テ執務スルコトヲ妨グズ」ト斯ノ如ク修正ノ動議ヲ提出イタシタイト思ヒマス、其理由ハ前段ニ於テ申上ゲタヤウナ點デゴザイマス、ドウゾ御異議ガナケレバ御贊成ヲ願ヒタイト思ヒマス

**○委員長(子爵渡邊千冬君)** 只今德川男爵カラ修正ノ御意見ガアリマシタガ、ソレニ付テ御意見ノアル方ハドウゾ御述ベテ願ヒタイト思ヒマス

**○岩田宙造君** 德川男爵ノ修正ノ動議ニ兩條トモ贊成イタシマス

**○木場貞長君** 私モ御動議ニハ贊成イタシマスガ、理由ニ至リマシテハ少シドウカト思フ點ガゴザイマスルカラ、チヨット異ナル理由ノ下ニ贊成ヲスルコトヲ申上ゲタイノハ、此一年以下ノ禁錮ノ者ガ缺格ニ入ッテ居ナイノヲバ、禁錮ハ總テ缺格ニ入レルト云フ政府案ニ復活スルコトニ同意致シマスニ付テハ、其理由トシテ三箇條ヲ御述ニナリマシタガ、一ツハ政府ノ主張サレル他方トノ關係上矢張り復活スルガ宜シイト云フ意見ヲ加ヘタイト思ヒマス、他方ノ關係ニ於

テ均衡ヲ失スルコトニナルカラ復活シタイト云フ政府ノ希望ガアリマスガ、是ハ尤モナ理由ト考ヘマス、又尙ホ三項御並ベニナ、タ中ニ衆議院ノ議員ノ方面ニ對スル少シ批評見タヤウナ御言葉ガアッタト存ジマス、アレハ寧ろ避ケテ輕イ禁錮ノ者モ缺格スルコトハ困ルト云フ程度ニ於テ贊成シタイト思ッテ居リマス、少シ立入り過ギテ居ルカノヤウニ考ヘマス、委員長ガ本會議ニ御報告ノ都合ガアリマスカラ、少シ其處ハ軟ク致シタ方ガ宜シイカト考ヘマス

**○委員長(子爵渡邊千冬君)** チヨット申上ゲマスガ、理由ヲ採決スルト云フコトハチヨットムツカシイコトダト思ヒマスカラ、私ガ本會議ニ報告ヲ致ス場合ニ、其處ノ所ヲウマク行クカドウカ知レマセヌガ、程ヨク一ツ報告イタシマスガ、御委セラ願ヒマシテ、此際ハ修正意見ノ採決ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマス

**○男爵德川喜翰君** 私ガ申述ベマシタ衆議院議員選舉ノ件ニ付キマシテハ、實ハ此動議ヲ私ガ提出イタシマセヌデモ、萬一他ノ方カラ第五條ノ修正動議ガ出マシタ場合ニハ、私ハソレニ只今申上ゲタ衆議院選舉ノ點ヲ述ベテ、或ハ他ノ方カラハ理由ハ多々ゴザイマセウガ、若シゴザイマセヌケレバ

其點ヲ述ベテ賛成シタイト思フテ居ラタノデアリマス、尙ホ委員長ノ御報告ニ、今委員長ノ御述ニナリマシタ通り、如何様ニモ適當ニ御斟酌ヲ願フテ一向異議ゴザイマセヌカラ、ソレヲ申シ附加ヘテ置キマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 木場君ニ御尋ネ致シマスガ、少シ念ノ入り過ギタ御尋カモ知レマセヌガ、徳川男爵ノ申述ベラレタ理由ヲ私ガ本會議ヲ述ベルヤウナラバ修正意見ニハ同意シタイト云フ程ノ強イ御主張デモナイト了解シテ宜シウゴザイマスカ

○木場貞長君 委員長カラ最初理由ヲ付ケテ動議ヲ提出シテ貫ヒタイト云フ御希望ガゴザイマシタカラ、ソレニ依ッテノ御説明デゴザイマシタカラ、ソレガ此委員會全體ノ意見デアルト云フヤウナ風ニ御取リナリマシテハチヨット如何カと思ヒマシタカラ、少シ弱メテソコノ所ハ程ヨク委員長カラ御報告アラムコトヲ希望スルト云フ意味デアリマス、決シテ……

○委員長(子爵渡邊千冬君) 委員長ハ御希望トシテ承テ置キマスノト、只今木場君ノ御述ニナリマシタ通り必ズシモ理由ハ全會一致シテ居ラヌカモ知レマセヌカラ、全會盡ク同一理由ニ依ッテト云フ理由デ報告イタシマセヌ、就テハ採決イタシマスガ、只

今徳川男爵カラ修正ノ動議ヲ出サレタノデアリマスガ、其動議ノ内容ヲ再ビ私ガ申ス迄モナク御了解ニナリテ居ルト存ジマスカスガ、如何デス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 徳川男爵ノ修正ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ全會一致徳川男爵ノ修正ノ動議ハ成立イタシタモノト認メマス、尙ホ徳川男爵カラ提出サレマシタ修正ノ動議以外ノ辯護士法改正法律案ノ各條項ハ原案通り可決イタシタモノト認メテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○委員長(子爵渡邊千冬君) 就キマシテハ徳川男爵カラ申述ベラレタコトヲ念ノ爲ニ申添ヘテ置キマスケレドモ、第五條第一號ノ修正ノ結果、附則ニ於テ矢張り政府ノ原案ト適應スルヤウニ衆議院ノ修正ヲ改メナケレバナラヌ所ガアルヤニ存ジマスガ、是モ政府ノ原案通りニ修正ヲ致スコトニ致シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレカラ次ニ

法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律案ハ原案ノ通り可決シタモノト看做シテ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 是モ御異議ナイモノト認メマス、之ヲ以テ本委員會ヲ閉會イタジマス  
午後三時十一分散會  
出席者左ノ如シ

- 委員長 子爵渡邊 千冬君
- 副委員長 板谷 宮吉君
- 委員

- 公爵山縣 有道君
- 子爵織田 信恒君
- 木場 貞長君
- 男爵徳川 喜翰君
- 藤澤幾之輔君
- 岩田 宙造君
- 大西虎之介君
- 政府委員
- 司法政務次官 八並 武治君
- 司法省刑事局長 木村 尙達君